

令和6年5月9日

保護者の皆様へ

井原市立木之子中学校  
校長 今井 浩

### 木之子中学校自立応援室『きのこルーム』について

新緑の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

木之子中学校自立応援室『きのこルーム』について、お知らせします。

#### ○自立応援室について

長期欠席・不登校対策の専用教室のことです。本校では、『きのこルーム』とよびます。専属教員により、個々の生徒の状況に応じた学習支援・生活支援を行い、学校（教室）への復帰を目指すと共に一時避難等により長期欠席・不登校の未然防止に努めます。

#### ○対応について

専属教員の本校での勤務を、月・水・金を基本とします。他の曜日は、兼務校での勤務となります。火・木は他の支援員等での対応となります。担任とも連携を図ります。

#### ○自立応援室『きのこルーム』からのお知らせ

（別添）の自立応援室からのお知らせ「きのこルームについて」をご覧ください、ご相談等ありましたら、本校までご連絡ください。

どうぞよろしく願いいたします。

#### 【連絡先】

井原市立木之子中学校

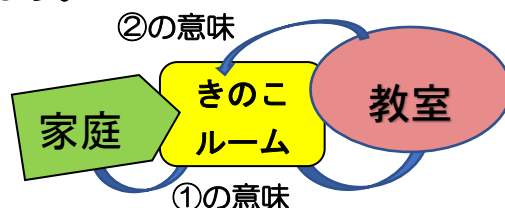
Tel : 0866-62-3603

# きのこルームについて

「安心できる場」で蓄えた「自信」が復帰の原動力になります。

より多くの経験と人との関わり（本人の意思の尊重を!!）

## 「きのこルームにおける指導」2つの意味



- ① 不登校（不登校傾向）から学校（教室）復帰へのステップとして
- ② 不登校にならないための一時避難として

## 「きのこルーム」2つの役割

**存在的役割** ・ ・ 自分の存在が、他の人達から受け入れられているとすることができる。

**実行的役割** ・ ・ 学習や活動を通して、生徒が達成感や意欲などを感じることができる。

## きのこルーム利用生徒への6つの視点

つながり・連携

当該生徒とのつながり

### 1 直接的コミュニケーション

- ・ 適性を知る等、自己理解を深める指導を行う
- ・ 個別に気持ちを聴く時間を確保する

学習・教科の先生とのつながり

### 2 学習保障

- ・ 学習時間を確保する
- ・ 個別の学習を通して、学習の遅れを取り戻せるようにする

家庭・保護者とのつながり

### 3 家庭への働きかけ

- ・ 家庭訪問を行う
- ・ 家庭と連絡を取り、学校の様子を伝える
- ・ 必要に応じてSCを紹介し情報共有する

学級・学年団とのつながり

### 4 教室とのつながり

- ・ 教室にいる生徒と休み時間等に交流する
- ・ 教室に復帰しやすい仕掛けを工夫する（当該生徒の現状を把握しながら…）

関係機関とのつながり

情報・支援の連携

### 5 関係機関とのつながり

- ・ 保護者とともに生徒を支える体制を作る
- ・ 各種連携機関を紹介し、情報交換と支援&連携を図る
  - 大山塾 ○子育て支援課
  - 青少年育成センター ○児童相談所 等

情報共有し支援の連携

### 6 校内での情報共有・支援の連携

- ・ 校内の連携体制を充実させる
- ・ 生徒指導委員会（毎週火曜日）
- ・ 不登校対策委員会（月1回金曜日）